

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良県障害者総合支援センター わかくさ愛育園		
○保護者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年3月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和8年2月24日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学校低学年から高校生までの幅広い年齢、医療的ケアが必要な児など、さまざまな状況の違った子どもたちを受け入れ、一人一人に合わせた柔軟な対応をしている。	その日の健康状態や身体の状態に合わせ、活動への参加や内容、姿勢などを考えて対応している。ADLにおいても個々に合わせた対応(トイレトレーニング、着脱、食事など)をしています。	関わるスタッフ全員が、一人一人の状況をしっかり把握していけるよう、情報共有を密にするよう努めます。
2	多機能型の事業所の為、切れ目なく支援をしていける。	幼児期から学齢期、生活介護と移行されても慣れたスタッフがすぐ近くにいることで情報共有でき、利用児、保護者の不安に対応しています。	幼児期、学齢期、生活介護では、支援のアプローチの仕方、環境、利用者・保護者のニーズなどが変わってくるため、それらに応じた支援・対応ができるようスタッフ間での情報共有や検討会を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケアの必要な方の利用日数がかざられること。	看護師が対応できる人数が限られているため、希望に沿った利用が難しいことがあります。特に学校の長期休みは終日利用になる為、利用が制限されることがあります。	喀痰吸引等の研修を受け、看護師以外のスタッフでも対応できることを増やしていけるよう努めています。